

カナダ金融政策（2023年4月）

2会合連続の政策金利据え置き

2023年4月13日

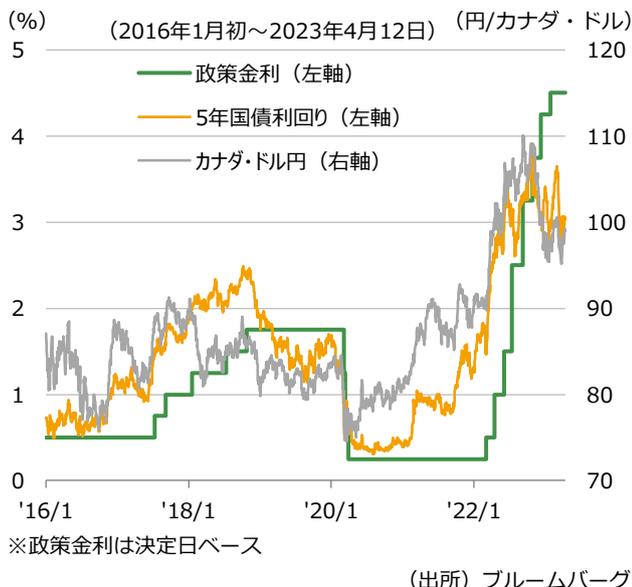
インフレへの警戒はまだ解けず、総裁は年内の利下げ開始に否定的

カナダ銀行（中央銀行）は4月12日（現地）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を4.5%に据え置くことを決定しました。声明文や四半期に1度の金融政策報告書、総裁・副総裁の記者会見にサプライズはなく、金融市場の反応も限定的でした。

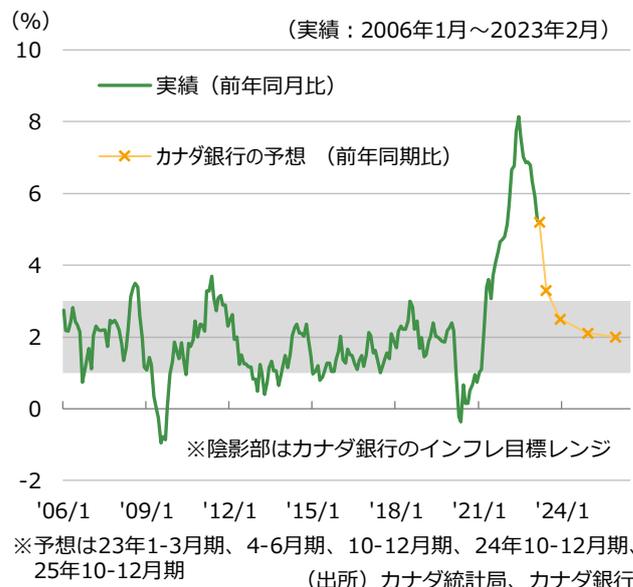
消費者物価指数は2月に前年同月比5.2%まで伸びが鈍化し、声明文などでは、エネルギー価格の下落を主因に、従前の想定通り今年半ばに3%程度まで鈍化するとの見通しが示されました。ただし、インフレ期待の低下が緩慢なことに加え、サービス価格の伸びや賃金上昇率が高いままであることなどを背景に、3%から2%への鈍化は緩やかで、2%のインフレ目標が達成されるのは2024年末と見込まれています。

これまでの利上げが住宅ローンの利払い負担増加などに時間差で効いてくることや、米経済の減速による外需の低迷が懸念されることから、依然として追加利上げの可能性は低いと考えられます。一方で、インフレ抑制を確実にするためには、少なくとも現状の引き締め的な金融政策を粘り強く続ける必要があります。マクレム総裁は会見で、市場が織り込む年内の利下げ開始に関して、「現時点で得られている情報に基づけば、可能性が最も高いシナリオではない」と否定的な見解を示しました。アップデートされた中立金利の推計値は従来と変わらず2~3%とされており、将来的にはこのレンジに向けた利下げが想定されますが、それが始まるのは来年になる可能性が高いとみられます。

カナダの金利と為替



カナダの消費者物価指数



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。